

みなみさんりく 議会だより



令和7年 11月1日発行

特集
昨年とほぼ同じ
8億円黒字
P2



P 7 〈一般質問〉 ここが聞きたい！ 8人登壇
P16 〈議案審議〉 ひころの里無料に
P17 〈補正予算〉 水道基本料金 1カ月無料
P18 議案一覧 P19 委員会報告

《表紙》毎年9月に行われる入谷打囃子例大祭の奉納のようす。当日は晴天に恵まれ盛大にとり行われました。

- ① 産業の振興、持続的発展 … チャレンジ農業支援事業、ラムサール条約湿地登録推進事業、約160団体の教育旅行受入など
- ② 地域経済の好環境に向けた取組 … 臨時特例給付金、燃油価格高騰対策支援事業費補助金、原油価格高騰対策漁業者支援給付金など
- ③ 人づくりから始まるまちづくり … 南三陸みらい創生塾「みなゼミ」に20名参加、おらほのまちづくり補助金を8団体に、など
- ④ 福祉の向上・子育てにやさしいまちづくり … 小中学校の学校給食費無償化、低所得世帯こども加算給付金、南三陸町こども計画の策定など
- ⑤ 学びの充実・住民満足度の向上 … 研修活動・文化芸術活動の推進、社会教育団体や指導者の育成、プロスポーツ団体との連携など

総括的質疑



Q. 失敗を恐れて
いないか

A. 町長 失敗をカバー
し合い復興してきた

QRコード
詳細は、上記
13:50
ご観
ください。
から



Q. 良かったと思う
ところは

A. 町長 子育て世代
の生の声が聞けた

QRコード
詳細は、上記
05:13
ご観
ください。
から

問 失敗を恐れ無難な町
づくりをしていないか。
こと、町民、議会にカ
バーしてもらい進んでき
た14年だった。

答 づくりをしていないか。
後で失敗と気づいた
が胸に去来するものは。
4年前には残つてい
た復興事業が全て終了し
たことが大きい。コロナ
の打撃も厳しかったが、
町民のみなさんのがんば
りで盛り返してきた。

問 主要施策の中で良か
ったと思うところや反省
点は。

答 LSAによる高齢者
見守りの継続や、「みな
はび」で子育て世代の生
の声を聞けたのは良かった
た。これまでの取組に高
評価をもらいありがたか
ったが、まだ十分ではな
いとも感じた。



Q. 4年間を振り返って思うことは

A. 町長 復興事業が完了したことが大きい

QRコード
詳細は、上記
54:40
ご観
ください。
から

詳
細
い質
疑
は、
次ペ
ージ
か
ら！

令和6年度
決算

昨年とほぼ同じ 8億円黒字

現在の体制では最後となる令和7年度9月会議は、9月2日から11日までの実質8日間開催され、一般質問（P7～）、議案審議（P16）、補正予算の審議（P17）をおこないすべて原案どおり可決しました。

また、令和6年度決算審査特別委員会（村岡賢一委員長）を設置し、予算の執行によって町民福祉は向上したのかという視点に立って様々な質疑がおこなわれ、すべての会計決算を原案どおり認定しました。

一般会計の全体像

歳入 124億0,500万円 (入ってきたお金)

一) 歳出 115億8,400万円 (出でいったお金)

形式収支額 8億2,100万円

一) 繰越額 1,900万円 (来年度使いみちが決まっているお金)

実質収支額 8億0,200万円

黒字

財政調整基金
繰入金（貯金） 4億0,200万円

繰越額
(来年度へ) 4億円

国民健康保険	歳入	19億8,000万円	後期高齢者医療	歳入	1億8,800万円
	歳出	19億4,400万円		歳出	1億8,500万円
介護保険	歳入	17億1,600万円	市場事業	歳入	3,800万円
	歳出	16億6,200万円		歳出	3,400万円
水道事業	収益的収入	6億2,400万円	資本的収入		9,600万円
	収益的支出	5億8,800万円			3億1,400万円
下水道事業	収益的収入	1億1,900万円	資本的収入		1億400万円
	収益的支出	1億1,500万円			1億1,700万円
病院事業	収益的収入	16億8,300万円	資本的支出		1億6,100万円
	収益的支出	20億1,600万円			1億6,000万円
訪問看護 ステーション事業	収益的収入	4,600万円			
	収益的支出	4,800万円			

※金額は十万円以下切り捨て。

予算はどう使われたのか

一般会計

歳 入

入居募集の見える化を
(使用料及び手数料)

震災時の借り入れ、返済
(諸収入)

歳 出

移住定住相談、成果が
低調
(総務費)

町民税の減収要因は
(町税)

町民税の減収要因は
(町税)

(伊藤俊委員) 町営住宅の入居率低下が使用料の減収に繋がっている。効率アップを図られたい。

(後藤伸太郎委員) 町民税が減収となつた理由と今後税収を増やす方策はあるか。

定額減税が主な要因である。町民のご理解と協力を得て徵収業務に尽力したい。

公共事業も積極的に町税

ふるさと納税は大事な収入源
(寄付金)

(三浦清人委員) 建設事業が低迷している。公共事業による支援が必要と考えるが。

復興事業が完了して震災前に戻つた。今後も国県の補助事業を積極的に導入する。

(三浦清人委員) 収支額の増大を目指して。

(今野雄紀委員) サポート業者を変更した理由と今年度の寄付額の見通しは。

年度返礼品を倍増させ寄付額も1億円から2億円を目指し鋭意努力しているところだ。

(今野雄紀委員) サポート業者を変更しました理由と今年度の寄付額の見通しは。

年度返礼品を倍増させ寄付額も1億円から2億円を目指し鋭意努力しているところだ。

(伊藤俊委員) 避難行動要支援者の台帳が整備されたが、個別避難計画名である。登録時に避難行動計画を策定し情報の共有を図つている。

産後ケア事業の反応は
(衛生費)

(須藤清孝委員) 母子モというアプリ導入がなされたが母子福祉業務への効果はどのように。



論戦白熱 地域おこし協力隊の受け入れ体制整備を
(総務費)

(後藤伸太郎委員) 補助金5,700万円が定住に繋がっているか。また地域経済の活性化にどの程度貢献しているのか。

一人あたり520万円の補助額。実績としてはこれまで定住者が6名程度である。中々成果が上がっていない現況にある。3年間本制度を利用して4年目からの自立につながるよう支援している。新たな町づくりにつながるよう取り組みたい。

(伊藤俊委員) 中途退任が多かつたが、伴走支援が不十分でなかつたか。

就任する一方退任もある。様々な課題をクリアして行く必要がある。引き続き事業者および隊員へのサポートを推し進めつづ今後も事業を継続して行きたい。

(伊藤俊委員) 中途退任が多かつたが、伴走支援が不十分でなかつたか。

就任する一方退任もある。様々な課題をクリアして行く必要がある。引き続き事業者および隊員へのサポートを推し進めつづ今後も事業を継続して行きたい。

(須藤清孝委員) 全て処理が完了したか。



伊藤俊委員 相談登録者数が減っている。考えられる要因は、移住者数は8組8名と全員単身となっている。ホームペーリー登録や二拠点居住及びふるさと住民制度導入等の検討しては。

(須藤清孝委員) 旧林際小の町民、ブールのような使用目的を終えた施設の維持管理はどのように。

農業の耕作課題に支援を

町長 関連法や総合計画の中での対応を行う



農耕作課題

次世代が農地継続のための対策を

QRコードから一般質問の動画が見られます。

問 今年は渴水の時期が長く続いている。稻作の耕作は厳しい状況下である。今後、耕作を進めて行くための支援対策を。

答 本年は、記録的な雨量不足で圃場が渴水につき、緊急的な対策として8月3日からの3日間、払川ダムから取水した水をミキサー車及び散水車により、水不足の深刻な溜池や水田に給水を実施。今後の支援対策としては、用水確保に要した電気・燃料及び給水に必要な資材購入、あるいは井戸の掘削等に要した経費の補助を考えている。

問 6期目の中山間地域直接支払制度事業が継続に入った。団体・面積数の変動は。

答 対象団体は10団体。4個人が9団体・2個人5期の面積は75・8haで、6期は1・1ha減になった。

答 相続未登記の農地面積が273haで農地全体

問 年々、所有者不明農地が増加傾向と今後の対応策は。

答 小森・大平・田表の取水堰の現状と、今後の対応策の考えは。

答 小森取水堰は下流域には耕作している水田がないことから、現時点では中で検討してみたい。

問 大平取水堰の復旧工事は4月末に完了しているが、5月末の豪雨で堰両サイドが流失、堰として機能しない状況だ。

答 復旧工事の実施のため、9月の補正予算に計上している。

答 田表取水堰は特に異なる木橋の復旧架設の考えは。

答 現段階では農業施設ではなく、環境衛生対策の活水処理の考えは。

答 現段階では農業施設ではなく、環境衛生対策の活水処理の考えは。

答 現状を確認し、対策を考えたい。

問 大上坊川に架設している木橋の復旧架設の考えは。

答 法定外公共物は町の所有だが現況の木橋は町所有では無いため、復旧は困難である。地域の方々には書面で提出している。

令和元年の台風19号等で被災の復旧状況は

河川管理 町長 災害復旧工事の進捗に合わせ適切な処理に努めている



法定外公共物区域内 復旧・管理は誰が

問 県管理の河川にある、は復旧計画がない。

答 昔から取水堰を利用し生活している方々の生活水処理の考えは。

答 現段階では農業施設には耕作している水田がないことから、現時点では中で検討してみたい。

問 県管理の河川にある、は復旧計画がない。

答 小森・大平・田表の取水堰の現状と、今後の対応策の考えは。

答 小森取水堰は下流域には耕作している水田がないことから、現時点では中で検討してみたい。

各学年12名・36名収容施設を目指して来たのでは?

町長 36名収容に向け町内全戸に声掛けをしている

絆留学生

絆留学生は36人・旭桜寮もいすれ36人収容と思っていた!今建設しないと萎んでいくのでは?

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 絆留学生は36名としているが、受け入れ体制は充分か。

答 南三陸高校の全国募集枠は、県教委で1年度12名程度×3年度で36名としてある。旭桜寮は24室整備しているが12室不足するので6年度12月会議に寮建設工事設計費を補正計上したが、建設に係る町負担分の財源が不確実になり取り下げた。不足する分を町内全世帯に下宿受け入れなどを広く募集したが効果は出でない。高校魅力化事業の取り組みは、内閣府など多くの皆様から、地方創生の最たる施策であるとの評価を受けている。今後も県教委と連携を密



旭桜寮の全景

河川環境 町長 河川は適正に管理されているのか

河川は適正に管理されているのか

問 高い評価の取り組みなら尚更、寮の12室建設は不可欠では。当初負担額2000万円がプラス3000万円の5000万円と、2倍以上の額にならざるを得ない。

問 町持ち出しにも一定程度の整理が必要である。寮に限定せず町内全体に下宿・民間の宿泊施設借り上げなどで対応していく。

問 町管理河川は適正な規格構造で管理されているのか。

問 計画規模に見合った流下能力を持ち洪水を防ぎつつ、生態系・景観・利用の河川空間が整備できている。

問 県管理の八幡川上流部を含め氾濫対策は十分か。

問 泛濫が生じた箇所は把握している。当該箇所

答 絆留学生は36名としているが、受け入れ体制は充分か。

答 南三陸高校の全国募集枠は、県教委で1年度12名程度×3年度で36名としてある。旭桜寮は24室整備しているが12室不足するので6年度12月会議に寮建設工事設計費を補正計上したが、建設に係る町負担分の財源が不確実になり取り下げた。不足する分を町内全世帯に下宿受け入れなどを広く募集したが効果は出でない。高校魅力化事業の取り組みは、内閣府など多くの皆様から、地方創生の最たる施策であるとの評価を受けている。今後も県教委と連携を密

答 県土木部河川係と現地を確認している。指摘の通り堆積物・流れを害するヨシが密生しており、県と一緒になり早めに対応したい。方線見直しは現地を確認していない証拠である。町も県管理箇所だが見廻りをするべきでは。方線見直しは継続して要望すべきでは。

答 県土木部河川係と現地を確認している。指摘の通り堆積物・流れを害するヨシが密生しており、県と一緒になり早めに対応したい。方線見直しは諦めずに要望して行く。

※本文は、原文のとおり掲載しています。

※本文は、原文のとおり掲載しています。

防災体制の不斷の見直しを

教育長 マニュアル改訂を含め体制整備に努める



防災・減災

○○○
判断が難しいこと
こそ議論する意味
がある。学校から
の早めの引き渡し
もあり得たのでは
…?

QRコードから一般質問
の動画が見られます。



問 7月30日、カムチャ
ツカ半島地震により津波
警報が発令された。被害
は。

答 人的被害はなく、養
殖物などに20万円ほどの
被害。

問 災害対策本部で対応
する中、見えた課題は。

答 関係機関との連携も
スマートで、本部運営に
問題はなかつたが、入谷
地区を含めた全町に避難
指示を出したことは、柔
軟な対応が必要だつた。
ある意味、いい訓練
になつたと言えるのでは。
検証をしつかりして、報
告書等にまとめるべきと
思うが。

答 次の防災会議等に示
せるよう、担当課で作業
を進めている。

答 (教育長)夏休み中だつ
たが、3校に児童生徒が
おり、活動を中断し、校
内に待機した。引き取り
に来た保護者たちに、津
波注意報以上で原則学校
待機とするという震災の
教訓を踏まえた方針を説
明し、理解を求めた。こ
の方針は、年度当初にも
保護者に示している。そ
の後、災害対策本部での
決定を受け、17時35分に
学校の管理下での安全確
保が原則的に最も安全と
しつつ、保護者の責任の
もと引き渡しを可とする
方針を示し、18時50分ま
でに全員が帰宅した。

防災担当者と関係機関で
十分に協議し、学校防災
マニュアルの改訂を含め
防災体制の不斷の見直しを
た、より実効性のある体
制整備に努める。

問 南三陸高校の全国募
集は注目を集めしており、
昨年度は選抜がおこなわ
れた。希望者はできる限
り受け入れてほしいと思
う町民は多いが、来年度
は何人受け入れられるの
か。

答 習の空室状況を考慮
すると、8人程度が基本
枠。面接や中学校からの
応募の見直しも必要では
ない。

答 (教育長)原則を一律に
求めのではなく、低い
ところを通らないのなら
ば引き渡すなど、各学校



災害対策本部で様々な決定が

今野雄紀議員

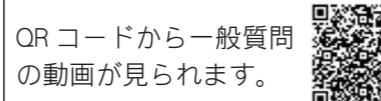
統合医療を取り入れて、患者の QOLの向上を

町長 治療の根拠、エビデンスが乏しい

自然治癒力

○○○
糖尿病や高血圧と
仲良くつきあって生きがいあ
る人生を

QRコードから一般質問
の動画が見られます。



問 私は、めつたに医者
に行かず薬も飲まない。
それは自然治癒力を信じ
ているからだ。「自然治
癒力を引き出す」という
新書で、長く最先端の医
療に携わってきた医師で
ある著者が、震災をきっ
かけに視点が被災者に心
身のダメージに機能しな
かつた現実に直面し、現
行の医療に限界を感じ
いた。それを機に心と体
を一体として診る全人的
統合医療に注目し、西洋
医学と西洋医学を補完す
る治療法として統合医療
の必要性をうたつていて。
高齢者が抱えている慢性
疾患が、悪い生活習慣な
どに対し未病や予備軍と
言われる段階で、悪い習
慣を改め、人間の体が本
来持つている自然治癒力
を引き出すのに、統合医
療の各種手法が役立つと
いうことだ。これから
時代、公立病院でもこう
いった統合医療的要素を
導入する必要性、可能性
について伺う。

答 統合医療とは、近代
西洋医学を前提として、
これに補完代替療法や伝
統医学等を組み合わせて、
さらにQOL(生活の質)
を向上させる医療であり、
医師主導で行い、単に病
気の治療だけでなく、精
神的・社会的な側面から
まで包括的ケアを行
う、患者中心に据えたチ
ーム医療である。

問 公立での必要性、可
能性は。

答 現時点での我が国の
統合医療は、治療の根拠、
裏付けといったエビデン
スにも乏しく、患者の安
心・安全のための情報が
不足している。安全性・
効果性に基づいた審査



糖尿病や高血圧と仲良くつきあって生きがいある人生を

産業の持続的承継と発展に対する取り組みは

町長 産業を繋ぐ、人を繋ぐ仕組み作りを検討



事業承継

○○○
生業を守り、発展させていくためには…

QRコードから一般質問の動画が見られます。

プランして10年が近づいています。
入居店舗の契約更新について何か対策は。
今までに厳しい環境の間にあります。まちづくり会社と共に考えていかな
ければならない。

商店街で課題だと思
うところは。

夜間営業をどのようにするか、イベントをどう

実現を目指して取り組む

今年度は部分貸しなども

実施して工夫を行っている。

その都度、状況に応じて最適な条件等を示す
ように努めている。

問 事業承継対策の重要度は。
答 産業人口の減少には強い危機感を持つている。

問 2015年に一度実態調査を行っているが、改めて今後調査する考え

は。

問 コロナの影響もあり見送っていたが、今後早い段階で調査したい。

問 自治体関与型の事業承継モデルを作る考えは。

問 モデルの作成ではなく、ケースに応じた対応策を優先させたい。

問 ビジネスセンターの設置検討は。

問 商工会がその役割を果たしていくべきと考える。

問 2つの商店街がオ

制度などの検討は。
まちづくり会社と検討、相談は行っている。

現状ベースで推移していきと認識している。

財政力指数の改善策は。

町長 持続可能な財政運営、行政運営

の実現を目指して取り組む

新型コロナウイルス感染拡大が地域に及ぼしたもの。

自ら集客努力を継続していくことが課題。

商店街で課題だと思
うところは。

夜間営業をどのようにするか、イベントをどう

実現を目指して取り組む

今年度は部分貸しなども

実施して工夫を行っている。

その都度、状況に応じて最適な条件等を示す
ように努めている。

財政力指数の改善・向上を図るために
なりわいのバトンを繋ぐと、町は元気に



財政力指数の改善策は。

町長 持続可能な財政運営、行政運営の実現を目指して取り組む

新型コロナウイルス感染拡大が地域に及ぼしたもの。

経済が完全に止まつたことは間違いない。

大きなダメージを受けたことは間違いない。

自主財源を強化していくためには。

経済の町内循環をいかにしていくかが一つの方向性。

行財政改革の見える化。

情報をしっかりと示すこと以外に方法、方策があるか検討したい。

経済が完全に止まつたためには。

自主財源を強化していく方向性。

行財政改革の見える化。

情報の開示や方策があるか検討したい。

経済が完全に止まつたためには。

水道基本料金1ヶ月無料

補正予算
9月定例会議



渴水対策にローリー車で水を運搬

漁業体験の継続を



守りたい海、守りたい漁業

陳情審査

◆葦の浜漁港に関する陳情書

船外機の盗難防止等のため、漁港施設に防犯カメラの設置を。

審査結果：不採択

詳細は、左記
QRコードから
ご覧ください。
15:15~

◆加齢性難聴者の補聴器購入助成

高齢者の聞こえにくさ解消や認知症予防のため助成金の創設を。

審査結果：採択

議
会
の
こ
と

補正予算
9月定例会議

ひこの里無料に



1

案審議
9月定例会議

今定例議会においてはひこの里管理条例の改正や歌中の改修工事及びリアス・アーク美術館の気仙沼市への管理移行に伴う財産処分などが審議され原案通り全て承認されました。

問 (及川幸子議員) 入館客減少による料金無料化で業者への影響は。

答 次年度事業なので今後行う。

問 (伊藤俊議員) 入館許可に支障はないか。

答 業者との細部検討は今後行う。

問 (今野雄紀議員) 無料化による事業内容の変化は。

答 業者のアイディアを期待する。

問 (及川幸子議員) 女子トイレの改修は。

答 女子トイレはすでに水洗化されているので予定は無い。

問 (伊藤俊議員) 歌中は多目的使用が求められている。今後の予定は。

答 北側施設が老朽化しているので早めに改修を考える。

問 (及川幸子議員) 女子トイレの改修は。

答 女子トイレはすでに水洗化されているので予定は無い。

広域行政事務組合で管理してきたリアス・アーク美術館の出資金などを整理し、令和8年度より気仙沼市の管理に移管するもの。

問 (今野雄紀議員) 今後の教育機関の移行で文化教育面での後退はないか。

答 気仙沼市との協議を重ねているので今後も後退はないと考える。

問 (及川幸子議員) 広域行政からの事務移管で職員への負担は。

答 気仙沼市が行うことになるので当町職員への負担は無い。

リアス・アーク美術館 気仙沼市の管理に



歌中、大規模改修に着手

問 (伊藤俊議員) 対象者への情報提供のあり方は、既に意見を伝えている。

答 (三浦清人議員) 国への働きかけは。

答 (伊藤俊議員) 対象者への情報提供のあり方は、既に意見を伝えている。

答 (伊藤俊議員) 対象者への情報提供のあり方は、既に意見を伝えている。

答 (伊藤俊議員) 対象者への情報提供のあり方は、既に意見を伝えている。

総務産業建設 常任委員会



持続可能な林業振興について、高知県の視察を踏まえ、委員会報告をまとめ町への提言とした。

未来を支える林業施策

結び

当町の森林は町域の76%を占め、地域資源として重要な価値があり、地域経済の一翼を担う重要な産業である。一方で、木材価格の変動、担い手不足、山林の手入れ不足など課題が顕在化しており、これに対応するには、町民・企業・外部人材の協働による林業の再構築が必要である。これまでの調査で得た知見を踏まえ、南三陸町の林業振興は地域資源を守り育てる『循環型地域社会の実現』に向け多角的な施策の展開が求められる。「担い手の確保・育成」

「木材の高度利用」「森林資源の管理・活用」「住民との連携」の4本柱をもとに、関係者同士が向かうべき方向性を共有していくことを始まりの一歩とし、循環型の地域づくりを進めていくことが望ましいと考えられる。しかしながら、林業の振興は一朝一夕に成果が出るものではなく、長期的な取り組みが必要不可欠である。よって、南三陸町の未来を支える施策とするために、今後とも議会との連携を深め地域に根ざした持続可能な林業振興を目指して展開していくことを提言とし結びとする。

民生教育防災 常任委員会



防災・減災の現状と課題について、広島県で視察した内容を踏まえて、委員会報告をまとめ、町への提言とした。

安全・安心な町づくりを

結び

住民の防災意識を高く保つためには、職員の意識が重要である。財源がない、時間がない、と出来ない理由を見つけてくることは簡単だ。しかし、それを出来るようにするための方策を考えることこそが、重要で尊い仕事ではないか。高台団地に道が1本というのはやはり大きな不安が付きまとう。また、ペットとの同行避難の態勢を整えることも必要だ。出来ない理由ではなく、出来る理由を考えてほしい。

災害列島日本に暮らす以上、いつどこで被災するか、誰にも分らない。防災・減災の意識を町民全てに浸透させ、高いレベルに保つということは、相当なエネルギーが必要になる。出来ないかもしれない。しかし、あきらめたらそこで終わりである。たゆまぬ地道な継続こそが、いざという時のちを守る最後の砦となる。これからも、自助、共助、公助の取組を住民と一緒に推進しながら、安全・安心なまちづくりを続けていくという決意を新たにして、結びとする。

9月定例会議 議案一覧 33件

(報告4件・条例4件・工事4件・和解1件・財産1件・予算6件・認定9件・同意2件・陳情2件)

報告	報告第 6号	特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告。
報告	報告第 7号	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び気仙沼・本吉地域広域事務組合規約の変更に係る専決処分の報告について。→P16
報告	報告第 8号	令和6年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率について。
報告	報告第 9号	令和6年度決算に基づく南三陸町資金不足比率について。→P16
条例	議案第 8号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定。
条例	議案第 9号	ひころの里設置及び管理条例の一部を改正する条例制定。
条例	議案第 10号	地域経済の牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定。
条例	議案第 11号	議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定。
工事	議案第 12号	令和7年度町道横断1号線道路改良工事を菱中建設(株)石巻支店と1億4,100万円で工事請負契約を締結。工期は令和8年3月19日まで。
工事	議案第 13号	令和7年度歌津中学校大規模改修工事を山庄建設(株)と1億7,600万円で工事請負契約を締結。工期は令和8年8月28日まで。→P16
工事	議案第 14号	令和6年度町道横断1号線道路改良工事を阿部藤建設(株)と443万円増額して7,043万円で工事請負契約を締結。工期は令和7年10月31日まで。
工事	議案第 15号	令和6年度漁港施設機能強化事業(石浜地区)防波堤整備工事を(株)阿部伊組と2,424万円増額して3億584万円で工事請負契約を締結。工期は令和8年1月30日まで。
和解	報告第 16号	損害賠償の額の決定及び和解について。
財産	議案第 17号	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の教育機関を気仙沼市へ移管することに伴う財産処分について。→P16
予算	議案第 18号	令和7年度一般会計補正予算(第2号)。→P17
予算	議案第 19号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第 20号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第 21号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第 22号	令和7年度市場事業特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第 23号	令和7年度水道事業会計補正予算(第1号)。
認定	認定第 1号	令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について。
認定	認定第 2号	令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について。
認定	認定第 3号	令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について。
認定	認定第 4号	令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について。
認定	認定第 5号	令和6年度市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について。→P2
認定	認定第 6号	令和6年度水道事業会計歳入歳出決算の認定について。
認定	認定第 7号	令和6年度下水道事業会計歳入歳出決算の認定について。
認定	認定第 8号	令和6年度病院事業会計歳入歳出決算の認定について。
認定	認定第 9号	令和6年度訪問看護ステーション事業会計決算の認定について。
同意	同意第 1号	教育委員会教育長小松祐治氏任命に同意。
同意	同意第 2号	教育委員会委員に高橋秀憲氏任命に同意。
陳情	陳情 6の1	葦の浜漁港に関する陳情書。→P17
陳情	陳情 7の1	加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度創設等を求める陳情書。→P17

請願・陳情 の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

陳情書

○ OTC類似薬の公的保険外し・給付制限の中止を求める陳情書

この陳情については、議員に配布しました。

わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。
投稿お待ちしています!! (400字程度)

時間経過とともに、町の方向性・屋台骨が完成し、これからは具体的な肉づけをしていく時期なのではないかと感じます。最近思うことは、環境や取り組みは素晴らしいが、行政の取り組みは他の市町村と比べ少し遅れているのではないかと感じます。町政と議会がうまく連携出来ず相互に支え合えてないのでないかと思います。議会の質問・答弁の一部では、重箱の隅を空く様な質問や、それで?と結果が分かりきつていてる様なやり取りが分かりきつていてる様なやり取り

私はこの町に魅力を感じ数年前に移住しました。森里海があり、他にはない取組みをしていく「唯一無二の価値」がある町だと思います。そして、人も温かく気兼ねなく声をかけてくれて会話する。そんな素晴らしい

A circular portrait of a young man with dark, wavy hair, smiling. He is wearing a light-colored shirt. The background is a bright blue, possibly the ocean or a clear sky.

志津川廻館 小林 翔吾さん

議会から
地方自治の仕組みはよく車の
両輪に例えられます。執行部と
議会とは、うまく距離を保ちな
がら町を前へ進める。近づきす
ぎても、別の方向を向いていて
もいけません。いただいた声を
胸に刻んで、ご心配をおかけし
ないような議会を目指します！

持続可能な、いのちめぐるまちの実現へ向け官民（住民も）一体となつて取り組める町、この先数年後、数十年後の南三陸町、今の子ども達、その先の世代へ繋がる町づくりを期待しております。

りが見受けられます。それは町
や町民のための議会になつてい
るのか疑問に感じます。もつと
町民が興味を持ち、町のために
町民の声や想いが届く未来へ繋
がる議会を期待します。

映像配信中！

パソコンやスマートフォンから、
議会開会中はリアルタイムで、
後日見たい場合は録画
映像をご覧になれます。



皆さん議会を傍聴してみませんか？

次回の会議（予定）
令和7年12月2日（火）
午前10時から

最も早い梅雨明けになつたと思つたら記録的な残暑が続いています。9月議会には例年前年度の決算審査が行われますが、年間の各事業における予算に対する適正性・事業効果及び今後の改善点等の審議が行われます。慎重審議の結果全ての議案が承認されました。また、本年は当町においても改選期にあたり町民による慎重審査が実施されると思いますがこの広報誌の配布時期においては新たな扱い手メンバーが揃うことと思います。今後とも議会広報誌の御精読と4年間の御協力に感謝を申し上げ編集後記と致します。

阿部 司

議会広報常任委員会
委員長 後藤伸太郎
副委員長 須藤 清孝
委員 佐藤 雄一
伊藤 高橋 阿部 尚勝
司 俊

編集後記

発行責任者 議長 星 喜美男